

第一回本屋大賞に輝く大ベストセラー、待望の映画化

博士の愛した数式

ぼくの記憶は
80分しか
もたない

寺尾 聡 深津絵里 齋藤隆成 吉岡秀隆 朝丘ルリ子

監督：小泉堯史『雨あがる』『阿弥陀堂だより』 原作：小川洋子（『博士の愛した数式』新潮社刊）

脚本・監督：小泉堯史／原作：『博士の愛した数式』小川洋子（新潮社刊）／撮影：上田正治 北澤弘之／照明：山川英明／録音：紅谷信一／美術：酒井賢／音楽：加古隆／編集：阿賀英登
音響効果：斎藤昌利／装飾：柴田博英／衣装コーディネーター：黒澤和子／キャスト：杉野剛／助監督：酒井直人／エグゼクティブ・プロデューサー：椎名保／プロデューサー：荒本美也子 板井勉
製作：『博士の愛した数式』製作委員会（アスミック・エース エンタテインメント 博報堂DYメディアパートナーズ IMAGICA 住友商事 東急レクリエーション 新潮社）
製作プロダクション：アスミック・エース エンタテインメント 配給：アスミック・エース

hakasse-movie.com

世界の名画を見る会 vol.27 企画・構成 高野悦子

- 14:00～ 対談：小泉堯史 高野悦子
（映画監督）（岩波ホール総支配人）
「黒澤明監督から学んだこと」
- 15:00～ 上映：映画「博士の愛した数式」
（2005年／日本／カラー／117分）



小泉堯史



高野悦子

■プレイガイド

黒部市	カラーレ	☎(0765)57-1201
	メルシー	☎(0765)54-2221
魚津市	魚津サンプラザ	☎(0765)24-3030
入善町	コスモホール	☎(0765)72-1105
	コスモ21	☎(0765)74-9100
朝日町	アスカ	☎(0765)82-2000
滑川市	サン・アビリティーズ	☎(076)475-3342
富山市	インフォマート【市民プラザ】	☎(076)491-0110
	【CIC駅前店】	☎(076)444-7013
	アルプラザ富山（ファボーレ内）	☎(076)466-1828
高岡市	高岡市生涯学習センター3F	☎(0766)20-1800

●お問い合わせ・チケットの申込み●

富山県黒部市三日市20番地
TEL. 0765-57-1201
FAX. 0765-57-1207
http://www.colare.jp/
e-mail: info@colare.jp

開館時間：9:30～22:30（土曜～23:00）／毎週水曜休館

2006 10月8日（日）

開場13:30

開演14:00

黒部市国際文化センター

カラーレ（カーターホール）

全席指定 1,500円

高校生以下の方は500円でお買い求めいただけます。
チケットはカラーレでのみ発売しています。

- この公演は黒部市の助成により低料金に設定しております。
- 5歳未満のお子様の入場はご遠慮願います。
- 公演中の一時保育（無料）を希望される方は事前にご連絡ください。

博士の愛した数式

脚本・監督：小泉堯史／原作：「博士の愛した数式」小川洋子 著（新潮社刊）

寺尾 聡 深津絵里 齋藤隆成 吉岡秀隆 朝丘ルリ子

撮影：上田正治 北澤弘之／照明：山川英明／録音：紅谷信一／美術：酒井賢／音楽：加古隆／編集：阿賀英登／音響効果：斎藤昌利

装飾：柴田博英／衣装コーディネーター：黒澤和子／キャスティング：杉野剛／助監督：酒井直人

エグゼクティブ・プロデューサー：椎名保／プロデューサー：荒木美也子 桜井勉

製作：「博士の愛した数式」製作委員会（アスミック・エース エンタテインメント 博報堂DYメディアパートナーズ IMAGICA

住友商事 東急レクリエーション 新潮社

製作プロダクション：アスミック・エース エンタテインメント 配給：アスミック・エース



第一回本屋大賞に輝く大ベストセラー、待望の映画化。 永遠に心に生き続ける、「至高の愛」の物語。

日本を代表する実力派俳優の競演
そのまっすぐな演技が伝える、
一途な生き方、人間のぬくもり

原作は、芥川賞作家 小川洋子の大ベストセラー「博士の愛した数式」。本屋さんが選ぶ第一回本屋大賞、第55回読売文学賞を見事受賞した名著を、『雨あがる』で2001年日本アカデミー賞最優秀作品賞を受賞、海外でも第56回ヴェネチア映画祭で「緑の獅子賞」を受賞するなど高い評価を受け、『阿弥陀堂だより』で日本中に優しさと感動を届けた小泉堯史監督が映画化。その下に集まったのは、日本アカデミー賞受賞俳優 寺尾聡、深津絵里、齋藤隆成、吉岡秀隆、浅丘ルリ子といった日本を代表する豪華キャストと最高のスタッフ陣。

“数式”という一見小難しく思われるものから溢れる美しく温かな愛が、人間の清明さと人を愛することの尊さを綴ります。

「今」という時間の喜びと、心に生き続ける大切な人の存在――。

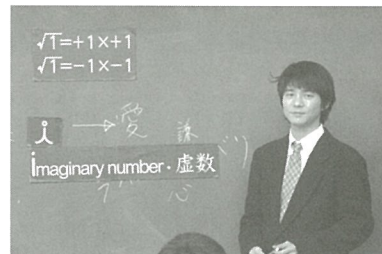
本物の映画として全ての日本人に観て欲しい、永遠に心に刻まれる日本映画が誕生しました。

「君の靴のサイズはいくつかね？」
「……24です」
「ほお、実に潔い数字だ。4の階乗だ」

80分しか記憶がもたない天才数学博士と家政婦とその10歳の息子。驚きと歓びに満ちた日々が始まった。

10年前にあった交通事故で、天才数学者の「博士」は記憶がたった80分しかもたない。何を喋っていいか混乱した時、言葉の代わりに数字を持ち出す。それが、他人と話すために博士が編み出した方法だった。相手を慈しみ、無償で尽くし、敬いの心を忘れず、常に数字のそばから離れようとはしなかった。

その博士のもとで働くことになった家政婦の杏子と、幼い頃から母親と二人で生きてきた10歳の息子。博士は息子を、ルート(√)と呼んだ。博士が教えてくれた数式の美しさ、キラキラと輝く世界。二人は、純粹に数学を愛する博士に魅せられ、次第に、数式の中に秘められた、美しい言葉の意味を知る――。



博士が教えてくれた数式①

<友愛数>

見てご覧、この素晴らしい一連の数字の連なりを――。

220: $1+2+4+5+10+11+20+22+44+55+110=284$
284: $1+2+4+7+11+14+28=220$

「284の約数の和は220。220の約数の和は284……友愛数だ。神の計らいを受けた、絆で結ばれた数字なんだ」